

布基礎底盤の施工不良 と 布基礎立上り部の鉄筋のかぶり厚さ不足

年度	2003年新築(2005年調査)
場所	山梨県
構造	木造在来軸組工法
階数	2階
延べ面積	124 m ²
用途	一戸建て専用住宅

瑕疵の特徴

布基礎底盤の厚さ不足、同・底盤側面のジャンカ(豆板)、布基礎立上り部の鉄筋に対するコンクリートのかぶり厚さ不足。



写真1



写真3

写真2

解説

1. 布基礎底盤の厚さは15cm以上(平成12年 建設省告示第1347号第1第4項一号)と規定されているが、計測部分では8.1cm程度と不足している(写真1)。また、側面はジャンカになっている(写真2)。ジャンカとは、コンクリートが分離して粗骨材だけが集まり、空隙が生じて硬化した状態。コンクリートの強度不足は明白で断面欠損となる。
2. 布基礎立上り部の鉄筋のかぶり(鉄筋のコンクリートによる被覆)厚さが計測用に仮設置した定規を含めても27.3mmを示している(写真3)。この部分は40mm必要(施行令第79条)。